

# DHARMA CONTROL 2.2



## USER'S MANUAL

### ユーザーズマニュアル

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこのマニュアルをお読みください。

#### 起動・常駐・終了

インストール時にデフォルトのまま変更されていなければ、スタートメニューに「DHARMAPOINT > DHARMA CONTROL 2.2」として登録されています。ダーマコントロールを起動するとGUIが開き、タスクトレイに常駐します。終了するにはタスクトレイアイコンのコンテキストメニュー（右クリックメニュー）から、「終了」を選択してください。（GUIの「×」ボタンはアプリケーションの終了ではなく最小化です。）

#### 「OS起動時に実行する」設定について

終了するにはタスクトレイアイコンのコンテキストメニュー（右クリックメニュー）の「OS起動時に実行する」をクリックするたびにオンとオフを切り替えることができます。この設定をオンにしておくとOSのスタートアップメニューに登録され、OS起動時に自動的にダーマコントロールが常駐状態になります。プロファイル自動切換機能を利用する場合はオンのままにしておくことをお勧めします。（デフォルトではオンになっています。）

#### ダーマコントロール2.2のアンインストール

ダーマコントロール2.2はスタートメニューにアンインストール項目を追加しません。OSの設定やコントロールパネルからアンインストールしてください。

## ダーマコントロールの機能について

ダーマコントロールはマウスの基本設定、ボタンの割当、スクリプトの作成、管理などマウスの設定に必要な機能を提供します。タブによって分けられた3つの画面を通じて、ボタン設定、スクリプトの作成、変更、CPI変更など本体の変更を行うことができます。

## ダーマコントロール メイン画面について

※スタートメニューから「Dharma Control 2.1」を起動してください。

起動後、各画面からタブを使用しボタン設定、スクリプトの作成、変更、CPI変更など本体の変更を行うことができます。

## はじめに

この度は【ダーマ タクティカルマウス 39 ラバーコート／ドライサンド】をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本アプリケーションソフトウェア『ダーマコントロール2.2』をご利用いただくことにより、マウスの動作、ボタンの動作、スクリプトの作成および割り当てといった機能をご利用いただくことができます。設定内容はマウス本体内のフラッシュメモリに保存することができるため、外出先やイベント会場などでも普段と同じ設定でご利用いただけます。

※本ソフトウェアをご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、いつでも確認できるようにしておいてください

## ファームウェアアップデートについて(重要)

ダーマコントロール2.2を利用するには、マウス本体のファームウェアアップデートが必要です。同梱の [FWupdate\_(バージョン番号).exe] を実行し、ファームウェアのアップデートをしてからダーマコントロール2.2を起動してください。ファームウェアが適合していないものの場合、表示上の問題が発生するだけでなく意図しない動作を引き起こすことがあります。

## ソフトウェアについて

※マウス動作そのものについてはOS 標準のドライバで動作します。

#### ダーマコントロール2.2のインストール

ダーマコントロール2.2はマウス本体の設定情報の書き換えや変更に必要なユーティリティソフトウェアです。本ソフトウェアの常駐は必要ありません（プロファイル自動切換機能を利用しない場合）が、マウス本体の各種パラメータ設定変更などカスタマイズに必要な機能が搭載されており、出荷時の標準設定以外へのパラメータ変更をご希望の場合は本ソフトウェアのインストールをお勧めします。

#### 注意：

ダーマコントロール2.2は、対象のマウスが接続されていない状態では一部機能を除き無効化されます。他社製マウスおよびキーボードソフトウェアがインストールされている場合、アンインストールを行ってください。他社製ソフトウェアが導入されている場合、競合を起こし正常に動作しない場合があります。



（画像はBUTTON SETTINGタブ画面）

#### 各タブの役割

##### CPI SETTING & TOOL

CPI設定、レポートレートなどといったトラッキングに関する設定を行うことができます。また、設定内容のバックアップとレストア、工場出荷設定へのリセットもこのタブから行います。

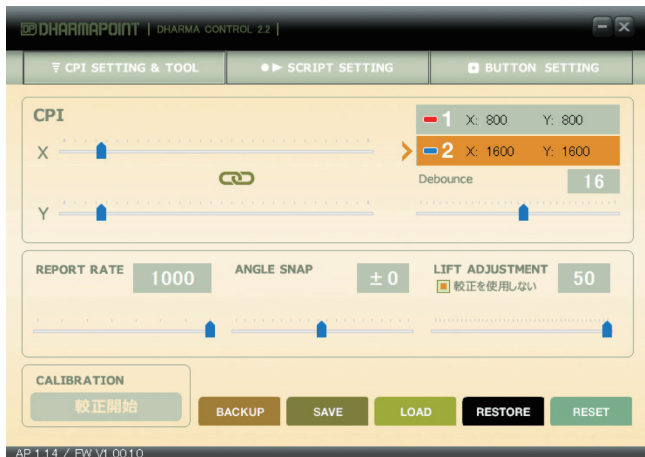
##### SCRIPT SETTING

スクリプトの記録・変更・管理を行うことができます。エディットエリアでスクリプトを作成、作成したスクリプトをマウス本体のメモリまたはローカルPCへ保存することができます。特定ゲームタイトル向けのプリセットを呼び出すこともできます。

##### BUTTON SETTING

5つ用意されているプロファイルに対し、各ボタンの動作設定、マウス本体メモリへ保存したマクロのボタンへの割り当て、プロファイル自動切換機能の設定を行うことができます。

## CPI SETTING & TOOL



### ① CPI ： CPI設定

スライダーをドラッグ&ドロップ、またはキーボードの「←」「→」キーで100刻みにCPIを設定できます。鎖のマークをクリックすると、X軸とY軸の同期／非同期を切り替えることができ、非同期時はX軸Y軸それぞれのスライダーが独立して動作、設定できるようになります。

### ② 「(赤)1」もしくは「(青)2」 ： レベル変更

CPIチェンジボタンで切り替わるふたつのCPI設定(レベル)のどちらをアクティブにするか切り替えます。アクティブなレベルはオレンジ色の三角マークと背景がオレンジ色になることで示されます。なおスライダーでCPIを設定する際はアクティブなレベルに対して行われますので、もう一方のレベルのCPI設定を行う場合は、まずレベル変更を行ってからスライダーを操作してください。

### ③ Debounce ： デバウンス調整

マウスボタンのディレイを設定します。数値が小さいほど意図しないクリック動作に対して脆弱になりますが、応答速度が速くなります。

※デフォルト設定は16です。16より小さくした際に発生する「意図しないクリック動作」は保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。

- 5 -

### ④ CALIBRATION ： 自動較正

センサーの読み取り設定を使用するサーフェス(マウスパッド)にあわせて自動的に較正します。

「BACKUP」 現在の設定(スクリプトやプロファイルの内容も含めすべて)をバックアップファイル(拡張子mbf)に保存します。

「SAVE」 現在の設定をソフトウェアに保存します。

「LOAD」 ソフトウェアに保存されている設定を復元します。

「RESTORE」 バックアップファイルに保存されている設定を復元します。

「RESET」 工場出荷時の設定を復元します。スクリプトはすべて消去され、プロファイルはボタンへの割り当ても含めすべてデフォルトへ戻ります。ファームウェアはユーザーが最後に適用したものが保持されます。

## SCRIPT SETTING



### ① MOUSE MEMORY ： マウスメモリ

現在マウスに保存されているスクリプトの一覧です。ダブルクリックでスクリプト名の変更、SCRIPT EDITORへドロップすることで内容の確認ができます。SCRIPT EDITORやSCRIPT LISTからドラッグ&ドロップしてくることで、マウスにスクリプトを保存することができます。マウスボタンにスクリプトを割り当てる場合、BUTTON SETTINGタブで設定する前に、作成したスクリプトをマウス本体に保存する必要があります。

- 7 -

### ④ REPORT RATE ： リポートレート設定

マウスがPCに情報を送信する頻度のこと、単位はHzで表示されます。スライダーと「←」「→」キーで8つのプリセットから選択できます。

※リポートレート値が高いほどマウスの動作・ボタン操作の情報をより素早く正確にPCに送ることができますが、PCやゲームタイトルによっては高負荷の原因となり、快適で安定した操作が行えなくなることがあります。

### ⑤ ANGLE SNAP ： アングルスナップ設定

X軸とY軸を傾けることができます。スライダーと「←」「→」キーで-30°から+30°まで、5°刻みでの変更が可能です。

### ⑥ LIFT ADJUSTMENT ： リフト調整

マウスを持ち上げたときにセンサーの反応をカットする長さ(リフトオフディスタンス)を調整します。スライダーと「←」「→」キーで10から50まで1ずつの設定が可能です。10に近づくほど短く、50に近づくほど長くなりますが、短く設定しすぎるとサーフェスの読み取りができなくなってしまうのでご注意ください。

### ⑦ 「較正を使用しない」チェックボックス

このチェックボックスがオンになっているときは、スライダーによる手動設定が有効になります。CALIBRATION(自動較正、次項)を実施すると自動的にオフになり、自動較正によって設定された内容が適用されます。ふたたび手動設定に切り替えたい場合は、チェックボックスをオンにして、スライダーを操作してください。



ボタンを押下後、横8の字を描くようにマウスを動かしてください。

この時、マウスパッド上で実際に使用する範囲をカバーするように大きく動かしてください。

- 6 -

### ② MEMORY ： メモリ使用量

現在のマウスメモリの使用量を表示しています。

### ③ SCRIPT EDITOR ： スクリプトエディター

スクリプトを作成、編集するメイン画面です。

シングルクリックで行の選択(動作追加位置の指定)、下のシンボル群をドラッグ&ドロップしてくることで動作の追加、対象の行をダブルクリックすることで内容の編集(ディレイ時間の編集、押すボタン／キーの変更など)ができます。

### ④ スクリプトの動作モード

ダブルクリックすることにより「1回だけ実行」「ループモード」「ファイヤーキーモード」を切り替えることができます。

「一回だけ実行」割り当てられたボタンが押下されると、スクリプトの最後まで1回だけ実行します。

「ループモード」割り当てられたボタンが押下されると、スクリプトの最後まで行ったら最初に戻って実行し続け、もう一度割り当てられたボタンを押すと停止します。

「ファイヤーキーモード」割り当てられたボタンが押されている間、スクリプトの最後まで行ったら最初に戻って実行し続けます。ボタンを放すとスクリプトの途中で停止します。

### ⑤ ゴミ箱

MOUSE MEMORYからのスクリプトの消去、SCRIPT EDITORからの行の削除、SCRIPT LISTからのスクリプト(またはフォルダ)の削除を行います。対象をドラッグして、ゴミ箱にドロップしてください。

### ⑥ 編集シンボル群

SCRIPT EDITORにドラッグ&ドロップすることで、スクリプトに動作を追加することができます。



ディレイを追加します。



キーリリース(キーボードのキーを放す動作)を追加します。



キープレス(キーボードのキーを押す／押し続ける動作)を追加します。



ボタンプレス(マウスのボタンを押す／押し続ける動作)を追加します。

- 8 -



ボタンリリース（マウスのボタンを放す動作）を追加します。



スクロール（マウスホイールを1カウントだけ回す動作）を追加します。  
※スクロールは1カウント固定で上下のみ設定できます。  
たくさん回したいときは必要分連続して登録してください。

## ☑ 有効時間or間隔の記録

レコーディング中のボタンを押した長さや、アクションとアクションの間の何も操作していない時間を記録してスクリプトに加える場合は、このチェックボックスをオンにしてください。

## ⑦ レコーディングボタン

このボタンを押すと、ユーザーの操作をそのままSCRIPT EDITORに記録するレコーディングモードに入ります。レコーディング中はボタンが「STOPボタン」に変化します。



## ⑧ クリアボタン

このボタンを押すと、SCRIPT EDITORの内容をすべて削除し初期状態に戻します。



## ⑨ SCRIPT LIST

ダーマコントロール (PC) に保存されているスクリプトのリストです。フォルダシンボルをダブルクリックすることでフォルダの開閉、名前をダブルクリックすることでフォルダ名およびスクリプト名の変更、シングルクリックで選択、ドラッグ&ドロップで、SCRIPT EDITORへの展開およびMOUSE MEMORYに直接保存することができます。

## ⑩ SCRIPT LISTボタン群



新しいフォルダを作成します。



SAVEしたスクリプトファイル (拡張子mcm) からスクリプトを読み込んで登録します。  
(フォルダ選択中のみアクティブになります。)

- 9 -

SAVE

選択中のスクリプトをスクリプトファイルに保存します。  
(スクリプト選択中のみアクティブになります。)

## ⑪ Visual Keyboard : ビジュアルキーボード



マウスでビジュアルキーボード上のキーをクリックすることで、SCRIPT EDITORに直接キーのプレス/リリースを登録することができます。  
ビジュアルキーボードは不要なら「X」ボタンで閉じることができます。再度開く場合は、そのまま「SCRIPT SETTING」タブをクリックするか、ほかのタブにいったん移動してから再び「SCRIPT SETTING」タブへ戻ってください。

- 10 -

# BUTTON SETTING



## ① PROFILE : プロファイル

ボタン設定は、「赤」「緑」「青」「紫」「水色」の5つのプロファイルに分けて保存することができます。このセクションでプロファイルをシングルクリックすることで、どのプロファイルのボタン設定を変更するか選択できます。  
プロファイル名をダブルクリックすることでプロファイル名の変更（ユーザーの備忘のためわかりやすい名前を付けることができます。プロファイル名は他の指定等には利用されません）、各プロファイルの下にあるボックスをクリックすることで、プロファイル自動切替機能の設定（後述）ができます。

## ② ボタン割り当て設定

このセクションのドロップダウンメニューから、どのボタンにどの機能を割り当てるかを設定できます。  
マウス本体にスクリプトが保存されている場合、「スクリプト」のサブメニューから割り当てる事が可能です。

## プロファイル自動切替設定について

「アプリケーションファイルを選択してください」と表示されている右側のボックスをクリックすると、exeファイルの指定ダイアログが開きます。  
このダイアログで指定したexeがアクティブになると、自動的にそのプロファイルに切り替わります。

※ダーマコントロールが（たとえタスクトレイに最小化されていても）起動状態でなければ動作しません。

※対象のexe（アプリケーション）が起動しているだけでは反応しません。

※対象のexeがアクティブでなくなったとき、自動的にプロファイルをもとに戻す機能はありません。

他のプロファイルで「explorer.exe（デスクトップ／エクスプローラー）」を対象に指定することで代替してください。

## 製品サポート

ダーマポイントのWEB サイトでは、ユーザー登録や製品の最新情報、製品のアップデートファイル、最新のトラブルシューティングなどを提供していますので、ぜひご利用ください。

## 故障かな?と思ったら

ダーマポイントの公式WebサイトではFAQを公開しております。  
そちらをご確認頂き、症状が改善しない場合には、サポートフォームから必要情報をご記入の上、お問い合わせをお願い致します。

製品に関する詳しい情報はこちら  
<http://dharmapoint.net/>

Dharmapoint (ダーマポイント)は株式会社ソリッドのゲーム関連ブランドです。



- 11 -

- 12 -